

総戸数415戸の大規模都市型住宅×商業×業務×公益施設を集約 地域の歴史と調和し賑わい創出を図る駅前コンパクトシティ 「蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業」再開発組合設立

住友不動産株式会社(新宿区西新宿、代表取締役社長 仁島 浩順)は、埼玉県蕨市中央一丁目他で事業推進に協力してきた「蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業」が、2020年8月28日に再開発組合の設立認可を受け、同年9月1日に組合を設立しましたので、お知らせいたします。

なお、当社はこれまで参加組合員予定者でしたが、この度、正式に参加組合員として事業参画いたします。

本事業はJR京浜東北線「蕨」駅に隣接した恵まれた立地条件を活かし、蕨駅西口広場や区画街路など公共施設の整備と先行工区(西口地区7番街区)に連続するプロムナードを中心に公共公益施設、商業業務施設及び都市型住宅施設が調和した魅力ある空間を創出し、地域を活性化する賑わい創出を図るとともに都市機能の向上と防災機能の強化を図ってまいります。



<計画配置図>



<建物完成イメージ図※左2棟が対象建物。なお、今後変更の予定あり。>

■本事業の特長

<安心と温もりのコンパクトシティの形成>

都心から約20km圏内に位置し、利便性が高い蕨駅前に、住宅だけでなく公共公益施設(図書館と行政センター)や商業業務施設を配置・集約化。永住にふさわしい住みやすい環境を創出することで、新たな居住者を誘致し地域活性化を進めてまいります。

<歴史・文化・景観を継承した魅力あるまちづくり>

江戸時代に中山道の宿場町として栄えた歴史や「成年式(成人式)」の発祥地である文化など、蕨市の歴史のかつ特長ある景観を守り一体的な街づくりを目指します。

<プロムナードや広場を活用したコミュニティの創出>

人と人との繋がりを大切にし温かみのある雰囲気特徴的な蕨市らしさを発信するため、プロムナードや広場を活用したイベントを誘致し、地域の方々や来街者がにぎわい、交流しやすい活気ある街並みの形成に貢献します。

■ 街なみのイメージパース図 ※今後変更の可能性あり。



■ 再開発事業の計画概要

区域面積：約1.3ha

施設規模：全体(延床面積):約54,887㎡

Aエリア:延床/約23,188㎡、規模/地下1階 地上29階 高さ99.86m

施設用途/住宅、商業業務施設

Bエリア:延床/約31,698㎡、規模/地下1階 地上27階 高さ95.63m

施設用途/住宅、公共公益施設(図書館、行政センター)、商業業務施設

住宅総戸数：415戸(A・Bエリア)

総事業費：約266億円(予定)

■ 再開発事業の歩みと今後の予定

2014年12月 蕨駅西口地区市街地再開発準備組合 設立

2019年 2月 市街地再開発事業の都市計画 変更決定

2020年 8月 再開発組合設立 認可

2021年 7月 着工(予定)

2025年 1月 竣工(予定)

<報道関係者お問い合わせ先>
住友不動産 広報部：住友、若山 TEL:03-3346-1042